

東かがわ市市制施行20周年記念式典 市議会議長挨拶

東かがわ市市制施行20周年記念式典が開催されるにあたり、市議会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

本日、来賓各位にはご多用のところご臨席賜わり、市民の皆さまにも多数ご参列いただき、本式典が、盛大に開催できますこと、厚くお礼申し上げます。そして、東かがわ市が誕生して20年という節目を、皆さまと迎えることができ、大変嬉しく思います。

これまでの20年間は、社会・経済情勢の各般にわたって、大きな変化の時代でありました。なかでも、2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちはこれまでと異なる生活様式への移行が余儀なくされました。人口減少、少子高齢化の波も押し寄せる中東かがわ市は、認定こども園、学校再編事業による小中一貫校の建設や図書館の新設などの教育環境整備、地域活動や交流の拠点となるコミュニティセンターの設置など、よりよい市民生活のための様々な施策を進めることができました。このことは、歴代市長のリーダーシップと、なによりも市民の皆さま、関係各位のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

日本は、デジタル化、国際化など、今も急速に変化しており、本市においても各種施策の一層の充実が求められています。東かがわ市を未来へつなげていく、東かがわ市全体をつなげていく、その思いでつくられた「次へつなげる20年」というキャッチコピーのもと、一人ひとりが安心して暮らすことのできるまち、次世代を担う子どもたちが誇れるまちとして、引き継いでいかなければなりません。

市議会といたしましても、二元代表制の一翼を担い、東かがわ市のまちづくりを推進していく必要があります。議員一同、郷土東かがわ市のより一層の進展のため、市民の皆さまの負託にこたえるべく研鑽を重ね、全力で取り組んで参ります。

結びに、市制施行20周年を祝し、東かがわ市の益々の発展と、式典にご臨席の皆さま、市民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます、お祝いの挨拶といたします。

令和5年11月11日

東かがわ市議会議長

渡 邊 堅 次